松緑白花

Vol ３８

石垣市立石垣中学校
教 頭　市原　教孝

12/16(水)　新生徒会長に入嵩西義士君　生徒会役員選挙

来年度の生徒会リーダーを選ぶ選挙。それに先立ち「立会演説会」が5校時に開催されました。立候補者が抱負を述べ、それぞれの推薦人が候補者たちの人柄などを紹介しつつ応援演説。候補者は口を揃えて今の石中を誇り、先輩たちの努力に感謝を語りました。

△前列左から**久貝佳靖君**(2-5)、**佐古花音さん**(2-4)、**武岡春菜さん**(2-3)、**平良優考君**(2-2)、**入嵩西義士君**(2-1)

この日、最初に演台に立った会計候補・久貝佳靖君。「落ちてるゴミを拾う。掲示物がはがれそうになっていたら直す。自ら率先して動きたい。」　次は書記候補・佐古花音さん。「みんながそれぞれの目標に向かって小さな努力を積み重ねることができる前向きな校風を創りたい。」　続いて副会長候補・武岡春菜さん。「意見箱を設置して、生徒全員の声を生徒会活動に反映したい。」　同候補・平良優考君は「石中３点セットをさらに徹底させ、地域からさらに応援してもらえる石中にしたい。」（会長候補・入嵩西義君のスピーチ原稿は裏面に掲載)…来年度の石中を任せるには十分にすばらしい５名だと感動して聞いていました。

演説会終了後、校長先生から講評をいただきました。

今年６月、公職選挙法が改正され、選挙権がこれまでの20歳から18歳に引き下げられた。今の高校２年生の一部は来年夏の参議院選挙から国のリーダーを決める選挙に参加します。選挙をするということは責任を果たすということ。

選挙で選ばれた人は、誠心誠意、公約実現に努める責任。選ぶ人は、候補者のことをしっかり考えて選ぶ。選んだら協力するという責任です。

選挙に行かない、人気だけで選ぶような無責任な選挙をしていると、無責任はリーダーが無責任な世の中を創っていくことでしょう。しっかり責任を果たして下さい。

続いて、選挙管理委員会のメンバーが各部署につき、一人一人チェックしながら投票用紙を交付。生徒会担当の当山哲郎先生が石垣市選挙管理委員会より借用、運んでくれた本物の「記載台」、「投票箱」を使って投票が行われました。

今回は対立候補なく、全員が「信任投票」。選挙管理委員による即日開票の結果、全員当選。

新旧役員の「引継式」は来年１月20日。大きな夢に向かってささやか一歩。しっかり準備して、スタートの日に備えて下さい。

【 義士君の公約(全文) 】 内容もすばらしいけど、何という達筆！　一文字一文字がとても丁寧。誠実さ伝わってきますね。

NO.1

皆さんこんにちは。僕は今回、生徒会長に立候補した八嶋西義士です。僕が立候補した理由は、2つあります。1つ目は、今年の生徒会は、体育祭も大成功させ、石中祭も開催させ、その努力が認められ、善行賞という大変すばらしい賞をいただき、たくさんの面での活躍におどろきました。2つ目は、毎日、朝の活動での校内・校外の清掃に加え、登校して来る生徒にあいさつをするなど、生徒会の頑張りが、今の石垣中学校を、つくっていると思います。僕もそんな生徒会の一員として、生徒会をやってみたいと思い、立候補しました。

様々な面での活躍を見せる石垣中学校ですが、自ら考えて行動するという事が、少し弱いと思います。例えば、先生の指示が無いと自分で行動できない生徒がいます。それを、僕が見本となり、行動しようと思いました。

僕が目指している石垣中学校は、様々な面で活躍でき、生徒会だけでなく、生徒全員が自ら

NO.2

自ら考えて行動するということを、意識できるような学校にしていくことです。その為にはまず、石垣中学校の決まりである、石中3点セットの、あいさつ・時間・美化を守り、積極的に行動しないといけません。そうすることで、石垣中学校に活気がうまれ、今年以上の盛り上がりを見せると思います。その為には、皆さんの協力が必要です。

様々な面で活躍をし、地域の方々からいい評価がもらえるよう、生徒会から積極的な行動を見せ、石垣中学校の生徒の模範となれるよう、今年以上の活動・活躍をしていきたいです。

先輩達からたくさんの事を引き継ぎ、すばらしい石垣中学校をつくっていきたいです。

皆様の清き御一票をよろしくお願いします。

推薦人・仲宗根政和君